

園名 高森保育園

事例分類 ICTの有効活用で休憩時間を改善

■サマリー

課題

日常保育業務や作成する書類が多く休憩時間が取りにくい又、各クラスの場所での休憩は負担になる。

目標

ICT活用をみんなが使えるようにし、日々の保育業務内容の見直しを心が休める休憩時間をとる。

成果

書類の簡素化等でゆとりができ休憩がとりやすくなった。

課題の詳細

子どもたちの午睡後に、日常業務や個人記録、保護者連絡ノートなど作成すると十分な休憩がとれない。

目標設定の意図

保育業務の内容や作成する書類など、どんなものを簡素化できるか話し、ICTを有効活用できるように研修した。

取組内容 ～2月

仕事の内容を0歳から2歳と3歳から5歳クラスを確認し1日の流れを書き、実際どこの部分で時間を費やすのか確認した。

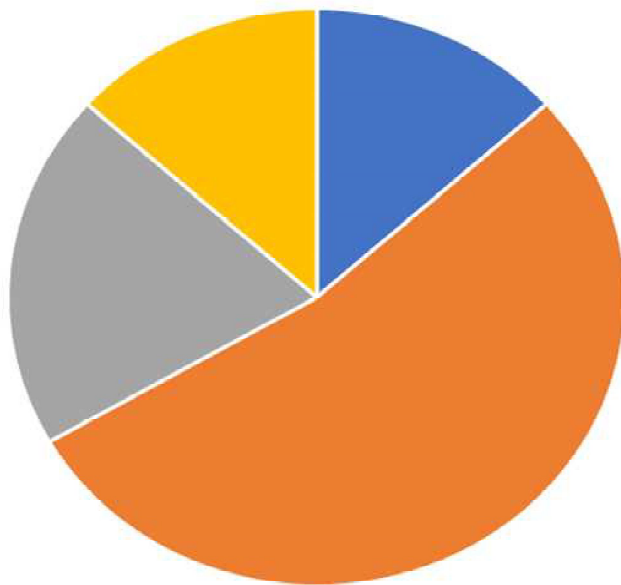
3歳から5歳クラスでは比較的休憩時間はとりやすい状況だったが、**0歳から2歳児クラスは手書き書類が多く食事時間もはっきり取れない状況**であった。しかし、全クラスは部屋での休憩であるため心身ともにゆっくりと休憩ができていない。**まずはICTを導入し職員で使い方を習得**してもらった。

その後**連絡ノートの廃止、書類関係はICT活用**した。またクラスごとで子供の様子を写真で送信できるので保護者にも好評である。そのために時間の余裕ができ休憩時間がとれるようになった。

休憩場所はあまり使わない医務室の奥にテーブルを置きゆっくりと食事ができるようにした。現在は交代で休憩をとってもらっている。

氏名 \ 日時	2/14	2/15	
[Redacted]	11:30 ~ 12:00	12:30 ~ 13:00	13:00
[Redacted]	12:00 ~ 12:30		12:30
[Redacted]	13:00 ~ 13:30	13:30 ~ 14:00	
[Redacted]	12:30 ~ 13:00	13:00 ~ 13:30	13:30
[Redacted]	12:00 ~ 12:30	12:00 ~ 12:30	

保育業務の中でどの時間にかかるのか



■ 環境整備 ■ 保護者連絡帳 ■ 書類の作成 ■ 行事準備